公共交通の活性化によるおでかけの促進

～官民連携による公共交通活性化と、地域特性に合わせた地域内交通の導入～

食文化創造都市
鶴岡
City of Gastronomy
TSURUOKA

鶴岡市の概況

山形県西部に位置
平成**17**年**10**月**1**日に市町村合併（今年は20周年）
人口 **122,347** 人（R2国勢調査）
面積 **1,311.51** ㎢（全国10位・東北1位）

鶴岡市公共交通の運行状況

■空路　　：庄内空港（羽田線５往復/日）
■鉄道　　：JR東日本（羽越本線10駅）
■路線バス　：**1**社 **22**路線
■市営バス　：**3**路線
■タクシー　：**11**事業者
■デマンド交通：**5**地区
■定時定路線型乗合タクシー：**5**路線
■その他：ボランティア輸送　**2**地区
　福祉有償運送(**3**法人**2**組合)
　乗合タクシー（月山号等）

（令和7年10月現在）

課題

人口減少・自家用車依存により、公共交通利用者が減少。
運転不足などの理由から、バス路線の廃止や減便によりサービスが低下。⇒ **住民の移動手段が不足**

再編事例①　庄内交通「市内循環線」の再編を実施

庄内交通㈱と鶴岡市の連携により、地域のニーズ把握しルートやバス停位置を設定したことで、利用者数の増加が実現。
さらに、庄内交通㈱では「つるおかまちあるき」マップを作成し、市街地観光の促進を図っている。

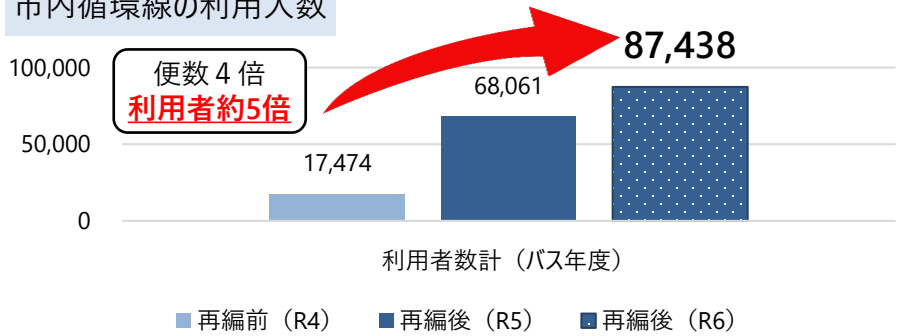
	再編前	再編後
運行便数	12便/日	**48便/日**
バス停数	58ヶ所	**79ヶ所**（約300mに1ヵ所）
路線数	2路線4系統	**3路線6系統**
運行日	月～金曜日	**毎日**（年末年始除く）
運賃	200～420円	**一律300円**

病院や商店、娯楽施設を目的地として設定。

12人乗り車両を導入することで、今まで通過できなかった地域も運行可能に。

高齢者のみの世帯が多い地域を通過するよう設定。

市内循環線の利用人数



「つるおかまちあるき」マップ作成

・庄内交通㈱が「鶴岡市街地観光&バスマップつるおかまちあるき」を作成。
・市内循環線沿線の観光地や飲食店を記載。

観光にも活用できる他、地域住民にとっておでかけの機会の創出につながっている。

再編事例②　地域の実態に合わせた地域内交通を導入（朝日地域）

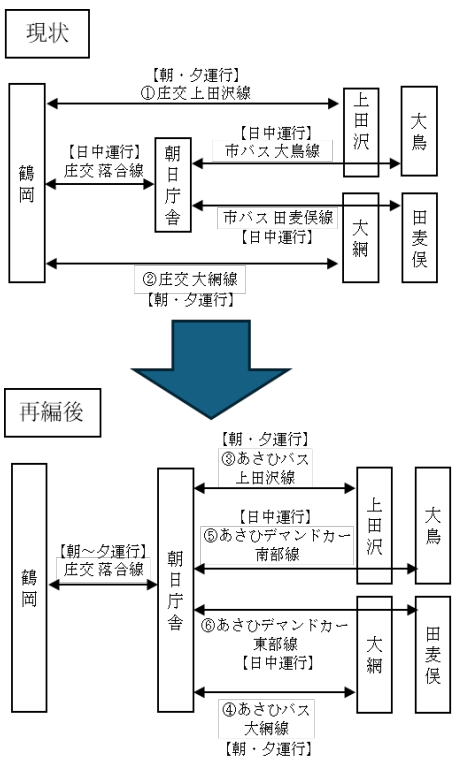
住民との協議によりニーズを把握し、**各地域に合った形の地域内交通を導入**。**住民との協働により運行**。
乗継により市街地へのアクセスも可能としている。

【現状と課題】

・主に高校生の通学手段として利用されている庄内交通「上田沢線」および「大網線」が、R7.6.30をもって廃止。　→**高校生の通学手段がなくなる。**

・H29から庄内交通の廃止代替として導入された朝日地域市営バスはコロナ禍や温泉施設「ぼんぼ」の一時営業休止より、利用者数が大幅に低下。

・**バス路線やバス停から遠い方はバスを利用しづらい。**



○庄交上田沢線、大網線廃止

↓

定時定路線バスを新たに導入。
通学の足を確保。
（あさひバス③④）

○バス停までの移動が困難な住民の増加
○市営バスの利用者数減少

↓

市営バスからデマンド交通に転換
(あさひデマンドカー⑤⑥)
自宅付近で乗降可能となり、バス停から遠い住民の利便性が向上。

○よく利用するスーパーに行きたい！

↓

住民要望のあったスーパーを路線バスのバス停に追加し、**買い物を支援**